

各関係機関長 殿

岡山県病害虫防除所長
(公印省略)

病害虫発生予察情報について

病害虫発生予報第8号を下記のとおり発表したの送付します。

平成25年度病害虫発生予報第8号

平成25年11月1日
岡 山 県

予報概評

作物名	病害虫名	発生量
アブラナ科野菜	ハクサイ白斑病 べと病 コナガ ハスモンヨトウ アブラムシ類	やや少 少 やや少 やや多 並

(アブラナ科野菜)

(1) ハクサイ白斑病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 10月21日の県予察圃場(ハクサイ)の調査では、平年同様発生を認めなかった。

イ. 10月24~25日の巡回調査によると、発生圃場率が35.3%で平年(48.3%)よりやや少なかった。

ウ. 10月25日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は平年より高いか平年並、降水量は平年並とされており、発生を助長する条件ではない。

(2) ベと病

予報内容

発生量 少

予報の根拠

ア. 10月21日の県予察圃場(ハクサイ)の調査では、平年同様発生を認めなかった。

イ. 10月24~25日の巡回調査によると、発生圃場率はハクサイで11.8%、キャベツで0%で、発生圃場率は平年(ハクサイ20.0%、キャベツ11.8%)より低かった。

ウ．10月25日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は平年より高いか平年並、降水量は平年並とされており、発生を助長する条件ではない。

(3) コナガ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア．県予察圃場（赤磐市）のフェロモントラップにおける10月1～5半旬の誘殺数は2頭で平年（4.1頭）よりやや少なかった。

イ．10月24～25日の巡回調査によると、ダイコンでの発生圃場率は85.7%と平年（65.1%）より高かったが、ハクサイ及びキャベツでは発生を認めず、発生圃場率は平年（ハクサイ11.5%、キャベツ16.5%）より低かった。

ウ．10月25日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は平年より高いか平年並、降水量は平年並とされており、気温が高い場合には発生を助長する条件となる。

(4) ハスモンヨトウ

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア．県予察圃場（赤磐市）のフェロモントラップにおける10月1～5半旬の誘殺数は1,865頭で平年（1,093.2頭）より多かった。

イ．10月24～25日の巡回調査によると、ハクサイで一部発生が認められたものの、ダイコン及びキャベツでは発生を認めず、平年よりやや少なかった。

ウ．10月25日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は平年より高いか平年並、降水量は平年並とされており、気温が高い場合には発生を助長する条件となる。

(5) アブラムシ類

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア．県予察圃場（赤磐市）の黄色水盤における10月1～5半旬の飛来数は270頭で平年（204.5頭）よりやや多かった。

イ．10月24～25日の巡回調査によると、ダイコン、ハクサイ及びキャベツで発生を認めず、発生圃場率は平年（ダイコン4.5%、ハクサイ5.3%、キャベツ1.9%）よりやや低かった。

ウ．10月25日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は平年より高いか平年並、降水量は平年並とされており、気温が高い場合には発生を助長する条件となる。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。アドレスは、http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239 です。